



豊臣期の 「東海」地域と美濃



(写真は墨俣一夜城)



講師

中部大学 人文学部教授 (専門 中世史・戦国史・地域史) 文学博士

水野 智之 氏

1969年 愛知県生まれ

愛知教育大学卒業 名古屋大学大学院修了

※岐阜県古文書読解講習会講師を長年担当していただいています

《講師・水野先生のメッセージより(抄)》

織田・徳川氏の同盟により、現在の「東海」地域には、ほぼ一体的な政治権力が形成されました。本能寺の変以後信長の後継者として台頭した羽柴秀吉ですが、講演では小牧・長久手の戦いを経て、秀吉の関白就任、秀次事件、さらには関ヶ原の戦いにおける「東海」地域および美濃国の状況を探るとともに、「東海」地域の一体性がどの程度保たれていたのかを考察していきます。

期 日：令和8年5月30日(土)

会 場：岐阜県図書館 1階 多目的ホール

時 間：午後2時30分～ (受付2時15分～)

(1時15分～2時15分は協会の総会を実施しています)

参加費
無料

※参加ご希望の方は、予め岐阜県歴史資料保存協会へお申込みください

(定員になり次第締め切ります)

※住所／氏名／電話番号をお知らせください TEL・FAX 058-214-8561

Eメール (岐阜県歴史資料保存協会HPより申込可)

右のQRコードからお申込み可能です



岐阜県歴史資料保存協会 岐阜県共催

[後援] 岐阜県博物館協会 岐阜県郷土資料研究協議会